

## 第7回低線量被ばくのリスク管理に関するワーキンググループ概要

日時：平成23年12月12日（月） 18:00～21:00

場所：内閣府本府仮設庁舎 講堂

出席者：

（有識者）近藤駿介氏、酒井一夫氏、佐々木康人氏、高橋知之氏、田中俊一氏、長瀧重信氏（共同主査）、仁志田昇司氏、丹羽太貫氏、前川和彦氏（共同主査） [五十音順]

（政府側）細野原発事故の収束及び再発防止担当大臣、中塚内閣府副大臣、佐々木内閣官房副長官補、菅原原子力被災者生活支援チーム事務局長補佐、鷺坂環境省水・大気環境局長、伊藤内閣審議官、矢島内閣審議官

議事：

○現場で生じている課題、今後必要な対策の方向性

1. 田中俊一 福島県除染アドバイザー、(財)高度情報科学技術研究機構会長より、「福島県民の放射線に対する不安を払拭するために」と題して、「福島県民の不安（ストレス）」、「放射能除染の意義」、「個人の被ばく線量のモニタリング」、「健康診断・健康相談システム」、「住民が放射線リスクを克服するために」等について説明。

◆上記について質疑応答

2. 仁志田昇司 伊達市長より、「伊達市における放射能被害対策と課題」と題して、「福島第1原発事故により環境へ放出された放射能」、「原発事故災害経過」、「行政への不信の具体的事象」、「行政に対する不信のまとめ」、「学者への不信」、「子どもへの不安（健康）対策」、「人災意識の払拭対策」、「伊達市の今後の方針」、「国への要望・意見」等について説明。

◆上記について質疑応答

○報告書取りまとめに向けた議論

これまでの議論の取りまとめに向けて、共同主査2名（長瀧重信氏、前川和彦氏）にて作成された「低線量被ばくのリスク管理に関するワーキンググループとりまとめ（案）」について議論。

以上